

国内メーカー初のマイクロEVバス

EMJ、来年に発売

20人乗り程度を想定

電気バス(EVバス)などを開発するEVモーターズ・ジャパン(EMJ、佐藤裕之社長、北九州市若松区)は2024年に、20人乗り程度の新たなEVバスを発売する。一般的に「マイクロバス」と呼ばれる規格で、同社として4車種目のEVバスとなる。マイクロバスの電気自動車

(EV)は、国内メーカーとして初になるという。現在、試作車の開発を進めており、23年内に完成する見通し。EMJは電動化が進んでいないマイクロバス市場で、先行してEVバスを投入することにより、販売拡大につなげる。開発中の新たなEVバスは、補助席も設けるなど使い

勝手を高める考え。マイクロバスは学校や企業で送迎用に使われるなど、根強いニーズがある。一方、国内市場ではモデルが限られている。EMJではEVバスという新たな選択肢をユーザーに提供し、シェアを獲得していく考えだ。

同社は現在、大型から小型



大型のEVバス

のEVバスを、路線バス事業者などに販売している。すでに納車実績が50台弱あり、200台超の受注残を抱えている。23年は事業計画通りに受

注台数を伸ばしたという。また、1月に公開した最大積重量1トンの商用EVバン「E1」と同2トンの「E2」も、年末から年明けにかけて正式発表する見通しで、発売すれば同社初の貨物車となる。